



ひこね日和 22

日常を



年度末に、県の就職フェアに参加する機会がありました。市内の地元企業さんとも直接お話しすることができ、地域へ貢献する様子や会社の雰囲気を知ることができました。就活中の学生さんはもちろん、引っ越しされたばかりの人なども参加しやすいと思いました。オンラインではなく、こうして対面できる機会がまた増えるといいなと思います。

そして、連休（ゴールデンウィーク）は出かける人も多いのではないのでしょうか。新幹線にすぐ乗れる彦根市の地理的環境はとても便利ですし、県内のみならず、東西南北へ出かけられるので、個人的に前より遊び場が増えたように感じます。

適切な行動をしつつ、少しずつですが、コロナ禍以前の日常のように過ごしたいですね。

【彦根市地域おこし協力隊 小林 由季】



願いを込めて飾られた 330匹の鯉のぼり



▲風になびく鯉のぼりを笑顔で眺める児童の皆さん

小泉町の住民でつくられた「蛸の棲める川づくりホテルの会」では、環境に関心を持ってもらうことなどを目的に、小泉町内を流れる戸賀川に13年前から毎年鯉のぼりを設置しています（設置期間は5月5日（木・祝）頃まで）。



今年は、ロシアに軍事侵攻を受けているウクライナの平和を願い、ウクライナの国旗の色（青・黄）の鯉のぼりを1箇所を集めて飾っています。